

ドキドキしたバルーンアート  
児童館で過ごした楽しい1日

「児童館お楽しみ会」が3月7日、児童館で行われました。

この日参加した子どもたちは29人で、まずバルーンアートに挑戦。今にも割れそうな風船を使っているいろいろな形を作り上げ、中には以前経験したことがある子もいて「りんご」や「鳥」、「花」など全部で20個も作っていました。

続くレクリエーションの時間では、ことわざが書かれた紙を子どもたちの背中に掛けて取り合うゲーム「人間カルタ」が行われ、歓声とともにホールいっぱいを使って激しい争奪戦が繰り広げられていました。



自分たちの地域は自分たちで守る自治会で災害図上訓練に取り組み

2月27日、中央公民館で自主防災活動研修会が開かれました。

昨年開催されていますが、今回は災害発生を想定した「図上訓練」として実施したもので、活汲、本岐、相生を含めた市街地区23自治会から約100人が参加。訓練では北見NPOサポートセンターの指導のもと、災害が発生した際の行動や安否確認など、自治会ごとに分かれて意見を交わしていました。

発表では、「火の始末や家族の確認、地域の救助に向う」などの意見や、「非常時には思うような行動がとれるか不安だ」との意見も出されていました。

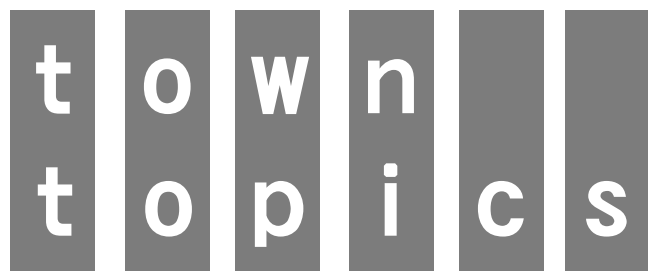


後には今回の出演者全員による合同演奏「トウモロコー」が行われ、会場に詰めかけた多くの町民から大きな拍手が送られていました。

優しい音色が会場を包むスプリングコンサートで合奏披露

活汲小・中学校、津別中学校吹奏楽部などによるスプリングコンサートが3月20日、中央公民館で開催されました。

最初に、活汲小学校と中学校によるリーダーアンサンブルと合同による合奏全10曲が披露され、また、近隣の小中学校教師でつくる「こてきたい」のリーダーとギターによる演奏も行われました。休憩に続き、津別中学校吹奏楽部によるメドレー演奏など、それぞれ日頃の練習の成果を存分に披露。最後に、



まちのわだい

卒園式に来てね  
青葉幼稚園児が町長に招待状



卒園式の招待状を持ってきた空クラスの園児たち

青葉幼稚園の空クラスの園児13人が3月5日、卒園式の招待状を持って佐藤町長のもとを訪れました。

はじめに園児全員であいさつをした後、熊谷拓斗さんと浜名あやねちゃんが「ぜひおいでください」と言って招待状を渡すと、佐藤町長は笑顔で受け取っていました。園児から「津別で一番多い魚は何ですか?」「町長さんはいつも何をしていますか?」など、たくさんの質問が出されていました。

佐藤町長はこの日の約束どおり20日に行われた卒園式に出席し、園児たちにお祝いの言葉を贈りました。



家でも出来る簡単なトレーニング  
楽しく元気に体力アップ!

家庭でも気軽にできる筋力トレーニングをすることで、健康の維持・増進が図れることを目的として、体力アップ教室が行われてきました。

この教室は、2月から毎週金曜日に開かれていて、最終日となった3月13日は、11人が参加。体育指導員の掛け声のもと、心地よい音楽が流れる中で下半身エクササイズや、タオルやボールを使ったゆつくりと効率的な運動を行っていました。

参加者の一人は「つらい運動もみんなであれば楽しくできました」と話していました。

NTT東日本ふれあいファミリーコンサートが2月28日、中央公民館で行われ、札幌に活動拠点をおく「パフファミリー」が公演を行いました。

会場には100人を超える人たちが集まり、プロの生演奏に聴き入りました。90分の公演では10曲を超える演奏を披露。ドラマ「ガリレオ」のテーマ曲や昔懐かしい「タイガーマスク」、「ダンシングクイーン」などを演奏。子ども向けには「ちびまる子ちゃん」や「崖の上のポニョ」、「おしりかじり虫」などの曲もあって、親子そろって楽しんだコンサートでした。



生演奏に大興奮！  
親子で楽しんだ音楽会



庭や玄関を綺麗に彩る  
44人が庭づくりを学ぶ

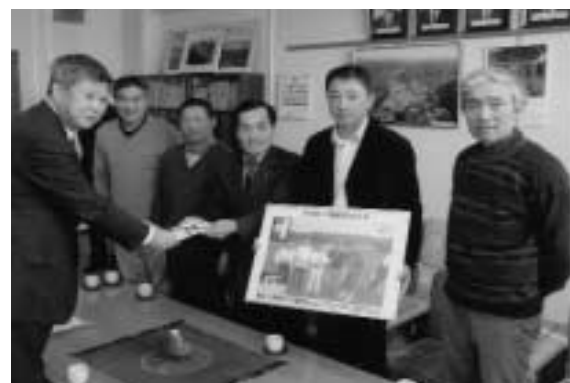
2月25日、商工会で「花と樹木でガーデニングを楽しもう」をテーマに、花いっぱい講習会（津別町花のまち推進協議会主催）が開催されました。

この講習会は住宅の庭などで花や樹木を楽しむ「ガーデニング」を広めることで花や緑を身近に感じ、町民一丸となって「花いっぱい運動」の充実を図ろうと実施されました。講師の㈱K Gエンジニアリングマネージャーの黒田正子さんが、高齢者でも無理なく続けられるガーデニングの樹木選びや方法などを、スクリーンや写真などを使って講演しました。

有機牛乳を生産している津別町有機酪農研究会（山田照夫会長）会員5戸の皆さんが、2月23日町長室を訪れ、酪農振興と学校給食に役立ててほしいと町に100万円を寄付していただきました。

同研究会が生産する牛乳は日本農林規格の有機認証を受け、昨年コープさっぽろ農業賞で知事賞を受賞しています。

山田会長から「有機牛乳を生産する酪農家を増やしたい」との思いが伝えられると、佐藤町長は寄付の趣旨に沿い、学校給食や酪農振興対策などに有益に活用させていただきます」とお礼のことばを述べていました。



酪農振興に役立ててください  
有機酪農研究会が町に寄付